

ハッキリ言って、日本のIT政策の現状は、残念ながら黒船に火縄銃で立ち向かうような極めて頼りないもの。疲れを切らした私達は、ここに独自のIT革命案を緊急提言いたします。思うにITの可能性とは、そもそも「面白おかしく、過激に」発想しなければ広がっていかないものなのですから。

○回線接続料がどうの、回線インフラがどうのという原始的な問題はとっくに片付けたうえで、今から考えるべき、やるべきIT施策は山ほどある。

○今の政府が掲げる目標なんか他のIT先進国からしたら当たり前。

○そもそも、IT環境の整備はあくまでも「手段」。目的と勘違いしてもらっては困る。肝心なのは、IT環境を整備して、それを使って何をやるか、というビジョンメイクである。

○そんな大事なことを、PHSと携帯の違いも分からず、ITをICと言い違えるような人物が、果たして分かっているのだろうか?

○そもそも時の権力が「革命」というのも変な話。まあそれはいいとしても、革命をうたうのなら、まず掛け声を発する当事者達が変わって見せるのが筋であろう。

①「首相本人による首相ホームページ」の開設を。大学生さえ、メールができなければ就職活動すらおぼつかない時代。もう21世紀なんだから、首相も大臣も大企業の社長も、せめてネットで世の中と常時ホットラインを結ぶぐらいの進歩ぶりは見せて欲しいものである。

②各省庁、役所は早急に刊行物や資料をデータベース化し、ネットで閲覧できるようにするべき。あの膨大な紙の量、そして生産コストは無駄以外の何物でもない。

③住民票の登録・変更、免許証の更新、パスポートの取得・更新、税金の確定申告など、わざわざ無駄な時間と労力をかけなければいけない公的手続きが多すぎる。24時間、ネットで行えるようにすべき。

④その時々の発言の内容が、常に国民からの多数メールから成り立っているような「バーチャル大統領」を作つてみる。

⑤公的に権威を持つIT技術検定、つまりIQテストならぬ「ITテスト」を設ける。政府、官公庁に関わる人間は率先して、その役職にかかわらず定期的な検定を義務づけ、結果によって査定が左右されるようにする。「ITはそれほど重要なんだ」ということを、世の中に身をもってアピールするわけだ。

⑥ITサミット、今度やるなら近場のIT先進国、韓国やシンガポール、インドと開催せよ。ITの変革期は、アジアが手を組んで新しい可能性を發揮できる最大のチャンスだ。

⑦IT担当相をいそそ印度人に頼んでみる。印度は優秀なIT指導者・技術者を輩出し、世界中に提供している。日本人もビックリ。

⑧議員選挙もネットで投票できるようにする。投票率はきっと上がるし、これなら海外在住の日本人にも喜ばれるはずだ。

⑨総選挙の際の各党党首による公開討論会も、ネット上ならもっと頻繁に設定できるはず。「地方遊説でスケジュールが合わないから」という言い訳は、もはや通用しない。

⑩例えば京都、仙台、筑波、藤沢などをIT都市に。スタンフォード大のあるシリコンバレー、MITのあるボストンのように、日本全国の都市が「学民一体」となってしのぎを削り、独自に発展していくべき。

⑪せっかく「専守防衛」を標榜している国家なのだから、ネット・ハッキングからの防衛技術も世界一のレベルを目指す。開発された防衛技術は、無償で世界中に提供する。

⑫小中高では「ネットを教える」「ネットで教える」だけではなく、「ネット道徳」を教えるべき。ネット社会でやってはいけないこと、ネット社会で危険なこと、子供達が幼いうちから学ばなければいけないIT時代の大切なことはいっぱいある。

⑬韓国に倣い、小学校では週に一度、宿題をネット提出させるようにする。

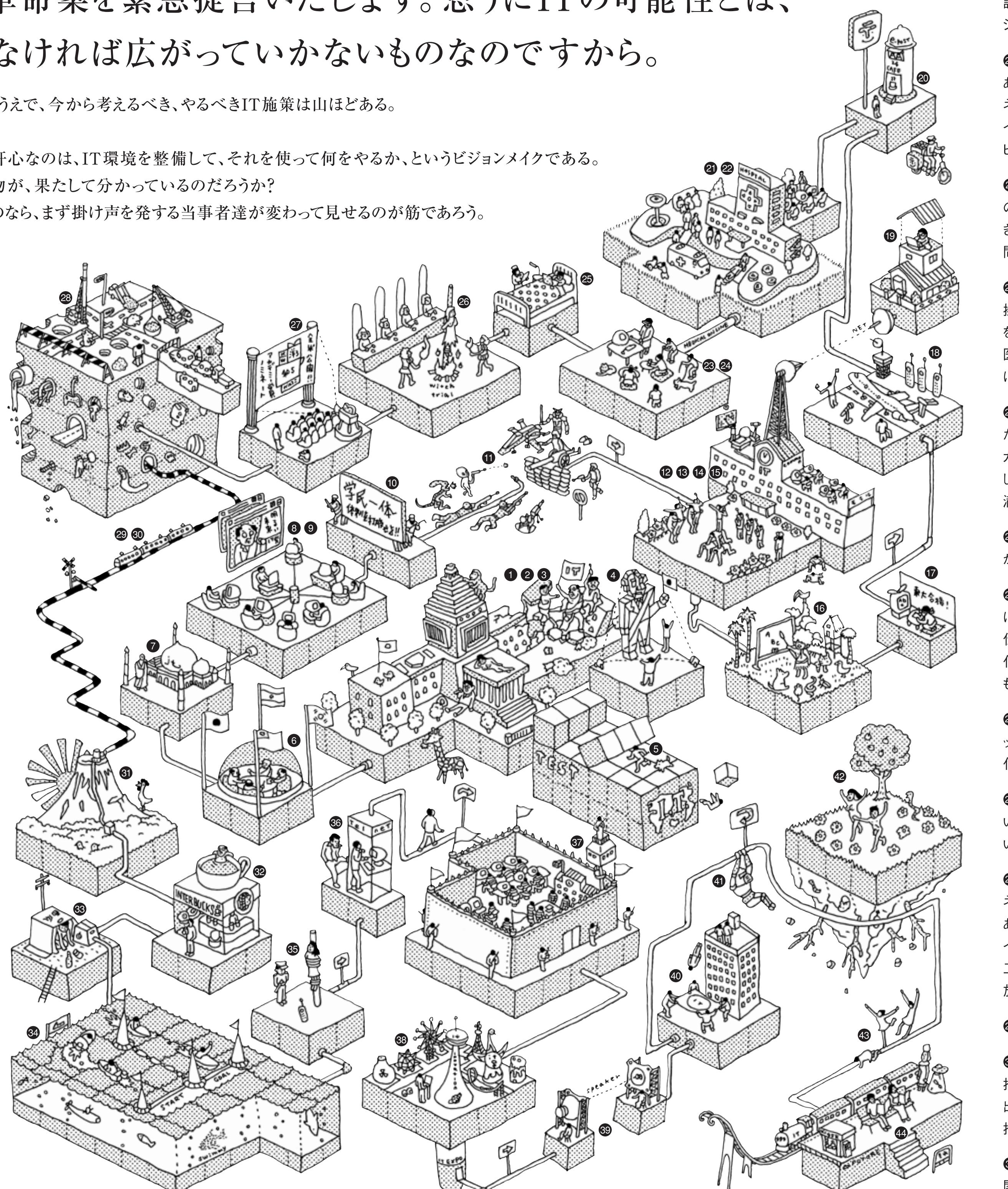
⑭学生には経済学よりも「ケータイ学」を教え、使用マナーを徹底させるべき。

⑮海外の優れた大学のカリキュラムがネットで受けられるようにする。ネット留学。もはや日本の大学が役に立っているとは思えないから。優秀な子供なら小学生でも受講でき、単位が取得できるようにする。

⑯そもそもネット時代の共通言語はやっぱり英語。英語が得意な国民性かどうかが、これからこの国の将来にいよいよ係わってくる。小学校から英語教育はネイティブの教師によるネット授業を徹底させる。

⑰少なくとも、最近のバラエティ番組で頻繁に使われる、やりすぎとしか思えないセリフのテロップを、すべて英語にする。

⑱自分の携帯電話が世界中で使えるようになってきている。これに伴い、早いこと携帯に自動翻訳機能の搭載を。特に日本みたいな外国語ベタの国は、これにより海外とのボーダレス化が一気に進むであろう。



⑲不登校児に端末を持たせる。そしてネットで勉強や遊びを教えたり、自由に創作させたりする。そもそも「不登校は良くないこと」という認識そのものが古い。不登校児たちのボタンシヤルにはきっとものすごいものがあるはずだ。

⑳今後、存在価値が希薄になっていくであろう日本中の郵便局を、思い切って憩いのネット・カフェにし、局員は全員、IT分野のインストラクターにする。自転車で出張サービスしたりするわけだ。

㉑大病院のあの長い長い待ち時間というのも、どうにも理解できない無駄。ネットでぎっちり予約できるようにすれば、あっという間に解決できるはず。

㉒献血提供者には、赤い十字方向キーで操作できる、オリジナルのバームトップ型端末をプレゼントする。ドナー登録や海外への医療寄付ができる「メディカル・オンライン」にもつながっているやつ。

㉓「それでも病院の待ち時間をのんびり楽しみたい」というお年寄りのために、待合室をネット・カフェにし、いわゆる「茶飲みサイト」にアクセスしてもらい、茶飲みチャット(略して茶ット)を満喫してもらう。

㉔介護福祉士もパソコン・インストラクターがつとまるようにする。

㉕お年寄り(もちろん、寝たきりの人も含む)にも一人一台パソコンを支給し、自宅で好きな仕事をやってもらう。いわゆる「シルバーSOHO化計画」。年季がものを言う仕事はこれからもいっぱいあるはずである。

㉖裁判システム、特に簡易裁判のIT化。ネットを導入すれば、さらなる簡略化、低コスト化が実現できよう。

㉗競売物件はネット上で公開すべきである。いい物件がなぜかひっそりとしか知られていないのはおかしい。

㉘国民は、当面、交通渋滞を我慢してでもネット・インフラの整備を国に急がせるべきである。現にロンドン市民はそう。ロンドンではインターネット用DSL高速通信回線を突貫工事で行うため、向こう5年間、道路は掘り放題もやむなしという方針を決めた。

㉙電車にはケータイ専用車両を設定する。

㉚通勤通学定期や各種チケットもすべて携帯にダウンロードし、それを証明代わりに出来るようにする。つまりすべてのチケットは携帯一台で勤まるということ。

㉛新聞はIT面をやって、常にIT初心者が関連記事を理解できるように工夫せよ。

㉕ネットバンキングの発達により、銀行の支店もこれから意味がなくなる。銀行は大抵、駅前など立地がいい場所にあるから、例えばそこにネットがただで出来、コーヒーもおいしい「인터넷バックス・コーヒー」を作るのもいい。

㉖路上生活者にも端末を支給する。ちなみにこれからは、ホームレスならぬ「アドレスレス」の解消が、切実な問題になってくるだろう。

㉗すべての公営ギャンブルはネット上で投票できるようにする。

㉘少年法に、罰として「ケータイ禁止令」を。ヘタな罰より結構こたえるはず。

㉙公衆電話をネット端末に。さらに携帯電話の充電所にするのも便利。

㉚服役囚にはコンピュータ・プログラミングを教える。そして簡単なゲームソフト、CGアートなどを創作させる。社会復帰後には引く手あまたの人生が待っているはず。

㉛アイチ万博もいいけれど、だったらネット上で「アイティー万博」を。テーマは家庭とか、犯罪とか、核兵器とか。

㉜目の不自由な人々のために、双方向の「インターネット・ラジオ」の早期実現を。

㉝企業は、単なるリストラではなく、社員の一発逆転精神を期待して、ダメもとでITビジネスにチャレンジさせる。いわゆる「ITベンチャー・リストラ」を行え。

㉞ロボット愛玩犬を作ったノリで、とりあえず半端でもいいから、人型友人ロボット「アイボー」を製造してみる。

㉟常にネットや携帯でつながっている状態には、人間だから耐えられない時もあるだろう。そこで、そういうコミュニケーション手段が一切機能しない落ち着きの場所「インフォメーション・バリア・オアシス」を街の随所に作る。

㉟まだ未成熟なIT社会には人々の精神的アンバランスが必ず生じる。「ITソーシャル・カウンセリング制度」の充実を。

㉟週に一度、読むかどうかで、週に一年分の差がつく! 宝島社のウィークリーをみんなで読む。

なぜか、特集記事が必ず社会現象になる。

週刊宝島

「IT時代の総合週刊誌」だからできる特集の数々

ITライフを楽しむのが、どうもへたな日本人へ。

週刊カルトナ

今週号もデジタル時代を乗り切る最新情報満載!

政府の皆様。本気で革命やってもいいですか。